

## 日本映画衛星放送株式会社 第41番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成26年9月9日(火) 16時～17時
2. 開催場所 : 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル15階  
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 8名 / 出席委員数 7名  
出席委員(順不同、敬称略): 菊地 実・川本 三郎・坂井 保之・曾根 和子・  
田保橋 淳・鳥居 美砂・西 正  
欠席委員(敬称略) : 鈴木 嘉一  
放送事業者側出席者: 取締役 佐藤 信彦  
編成制作局長 宮川 朋之  
編成制作部長 澤 尚志  
番審担当 堤 靖芳  
清水 明(記)

### 4. 議題(1) 審議事項

日本映画専門チャンネル「ゴジラ 4K プロジェクト」について

#### (2) 報告事項

- A. 時代劇専門チャンネル「時代劇まつり in 巣鴨 和ワボン!スペシャル」について
- B. 映画『舞妓はレディ』連動チャンネルID、制作・放送について

### 5. 議題(1) 審議概要

特集「55時間まるごと総力特集・ゴジラ」の中で放送された番組「ゴジラ 4K プロジェクト」について審議を行った。この番組は、ハイビジョンを超える高画質・4Kで、『ゴジラ』シリーズ全28作品のフィルムをスキャニングし、編集したオリジナル番組(日本映画専門チャンネルのオンエアに関しては、4Kマスターを2K(HD)へダウンコンバートして放送した)。審議ポイントは以下。

- 画質の評価。
- 番組に魅力があり、視聴者にとって価値ある番組だったか?
- 将来本格的に始まる4K放送に向け、こうした試みを行ったことに対する意見。

## 6. 議題（1）審議内容

- ・ 欠席委員からコメントをいただいたので紹介する。

鮮明だというのはよく分かったが、4K 映像と HD 映像を左右分割画面で比較する映像が欲しかった。この番組によって、映像技術の進化の歴史がよく分かる。放送は「技術を活用した文化」。最新・最先端の技術に取り組むのは、大変結構なことだ。

- ・ 4K に否定的な印象を持っていたが、この番組を見て考えを改めた。35mm フィルムに含まれる情報を伝えるのに 4K が必要なコンテンツがあるし、今後 4K で残すことが期待される作品がある。映画を通して時代や社会が理解できる番組となっていて感動した。
- ・ 映像の美しさに驚くとともに、そのオリジナルをつくった映画制作当時の技術力にも驚いた。特に 1 作目、2 作目が綺麗だ。番組の内容的にも、空襲や戦災のメタファーとしての映画だったものが、所謂怪獣映画になり、コミカルになっていく変遷がよくわかったし、操演技術の素晴らしさも実感された。小津作品や黒澤作品も 4K で取り組んで欲しい。
- ・ 何のための 4K なのか、というのが、世間一般に理解されていない中、この番組はそうした疑問への回答になっている。4K の良さが出た大変意義深い番組だ。
- ・ 内容的には『ゴジラ』の世界を元々知っている人でないと理解できない。とはいえ、特撮マニアは確実にいるし、そうした人は強く惹きつけられる番組だろう。
- ・ 映像が綺麗だからといって、視聴に結びつくかと言えば、そうではないと思う。ただ、実験としては正しい。今後はお年寄りや子供にも映像の美しさやその価値を理解させるような教育や啓蒙が必要だ。そうしないと、4K の大衆化に結びつかない。
- ・ 番組制作にはどのくらい時間がかかったのか？ また、オリジナルネガから作業せず、デュープから 4K スキャニングした作品もあったと聞いたがどうしてか？
- ・ 番組の展開が速過ぎて、説明を自分の目で検証できないうちに、どんどん進んでしまう。むしろ、番組ナビゲーターの佐野史郎さんによる作品解説で、衣裳の素材感などが非常によく見え、感心し、4K の可能性を感じた。

### <事業者回答>

- ・ 4K のスキャンに 2 ヶ月弱もかかり、そこから全ての作業に HD より時間がかかった。完パケのエンコードだけで 1 週間程も要した。また、シリーズ最初の 2 作品は可燃性のフィルムなので、デュープから作業せざるを得なかったが、3 作目以降はオリジナルのネガから映像を起こした。最近作は合成部分が HD 合成なので、35mm フィルム撮影部分は綺麗になるが、合成部分は HD から 4K へのアップコンバート映像にしかならず、初期作品の方が 4K の効果がより出るのは、そうした面もある。
- ・ 若い視聴者がこの番組を見て、例えば『七人の侍』も 4K で見たい、黒澤監督のこだわりを知りたい、などと思ってくれるのなら、大きな役割を果たしたことになると思う。
- ・ 今日いただいた「マニアックである」とか「速過ぎる」といったご指摘については、番組づくりの問題として真摯に受け止め、今後の番組制作に生かしていきたい。

- ・この番組をチャンネル4Kで放送したが、一部のメーカーのアンテナだと受信出来なかった。テレビに録画機を接続しようとしてもHDMIのポートが2.0かそうでないかで繋がらない。録画機とテレビのメーカーが違っていると見られない。同じメーカーでもバージョンが違っては見られない。ハードディスク以外にメディアもない。そこで今日は、放送の録画ではなく、元データの入ったハードディスクをテレビに繋いでご覧いただいた。まだまだ技術として初期段階と言えるが、だからこそこの番組制作は、技術の理解に役立ったし、今後の取り組みについて一定のパースペクティブを得ることが出来た。

## 7. 議題（2）報告事項

- 【A】時代劇専門チャンネル「時代劇まつり in 巣鴨オニワバン! スペシャル」について**  
「7月1日＝テレビ時代劇の日」を記念して、東京・巣鴨で時代劇専門チャンネルがお祭りイベントを開催し、その目玉企画として、チャンネルの看板番組「時代劇ニュース! オニワバン」のスペシャル版公開生中継を実施した。
- 【B】映画『舞妓はレディ』連動チャンネルID、制作・放送について**  
映画『舞妓はレディ』と、日本映画専門チャンネル・時代劇専門チャンネルの両チャンネルがコラボして、映画の主演女優、上白石萌音が、映画さながらに歌って踊るチャンネルID(15秒)を制作し、映画と両チャンネルのアピールを行っている。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、2014年11月18日開催。